

令和2年度 第2学年 国語科年間指導計画

月	教材名	目標	時数	観点別学習状況の評価規準	言語活動	学習指導要領	評価方法			
							テスト	ノート	提出物	観察
4	見えないだけ	言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想をもちながら読む。	1	読	表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。	読(1)ア				○
	アイスプラネット	登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。登場人物の考え方や生き方などについて、自分の経験などと関連づけて考えをもつ。	5	読	登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。登場人物の考え方や生き方を適切に捉え、それについて、自分の経験を根拠にして考えをもっている。	読(1)ア・イ 読(1)エ	○	○		○
	練習 要点を整理して聞き取る	目的や状況に応じ、話の要点や順序を整理しながら聞き取る。	1	話聞	情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成している。	話聞(1)エ		○		○
	季節のしおり 春									
5	枕草子	日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方、感じ方に触れる。	3	読 伝国	描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方について、感想をまとめている。「枕草子」の文体の特徴を生かして朗読している。	読(1)イ・エ 伝国(1)ア (ア)(イ)	○		○	○
	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめ、構成を考えて書く。書いた作品を読み合い、構成のしかたや情報の活用のしかたなどについて助言し合い、自分の考えを広げる。	5	書	興味をもった職業について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理している。	書(1)ア・ウ 書(1)オ			○	○
	漢字1 熟語の構成	熟語の構成について理解する。	2	伝国	熟語の主な構成について理解している。	伝国(1)イ (イ), ウ (ア)(イ)	○			○
6	生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能性	文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える。	4	読	文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えの組み合わせに着目して、説明のしかたの特徴を捉えている。	読(1)イ・ウ	○	○		
	説明のしかたを工夫する	伝えたい事柄をわかりやすく伝えるために、説明のしかたを考えながら文章を書く。	1	書	説明する事柄の特徴を明確にし、適切な説明のしかたを選んで書いている。	書(1)イ・ウ		○	○	
	魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	情報を多様な方法で集め、聞き手を想定して整理し、わかりやすい説明の構成や展開を考える。	5	話聞	多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができている。	話聞(1)ア・イ				○
	情報コラム 著作権について知る	メディアの特徴について書かれた文章を読んだり、自分で多様なメディアから情報を集めて比較したりして、メディアとの付き合い方について自分の考えをもつ。	2	読	さまざまなメディアの特徴を理解し、活用のしかたや注意点について、自分の考えをまとめている。	読(1)エ・オ		○	○	
類義語・対義語・多義語	類義語と対義語、多義語の意味や用法について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。	2	伝国	類義語・対義語・多義語の概念について、具体例に当てはめて理解している。	伝国(1)イ (イ)	○	○			
	新しい短歌のために 短歌を味わう	解説文の筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。	3	読	解説文に表れた筆者のものの見方や考え方について、自分の体験や読書経験と関連づけて感想をまとめている。	読(2)ア	○		○	
	言葉を比べよう	似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。	1	伝国	気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨いている。	伝国(1)イ (イ)		○		○

7	言葉の力	「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	2	読	挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。	随筆を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。	読 (1)ア・ウ・エ	○	○					
	文法への扉1 言葉をどう分ける？	活用のある自立語と活用のない自立語の性質や働きを理解する。	2	伝国	自立語の位置や語形、働きについて理解し、練習問題をおおむね正確に解いている。		伝国 (1)イ (エ)	○	○					
	世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊	登場人物の言動の意味や展開、表現の仕方などに着目して読み、作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考えを深める。	3	読	作品に込められたメッセージや文学作品としてのよさについて、自分の考えをもち、友達と話し合っている。	物語を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。	読 (1)イ・ウ・エ			○			○	
	季節のしおり 夏													
9	盆土産	登場人物の言動や行動の意味などを考え、作品を読み味わう。	5	読	作品の構成や登場人物の描写に着目し、人柄や心情を捉えながら、作品を読み味わっている。	内容や表現のしかたについて感想を交流する。 (例：ポップを作成し、交流する。)	読 (1)イ	○					○	
	字のない葉書	登場人物の言動や行動に注意して、作品を読み味わい、ものの見方や考え方について自分の考えをもつ。	3	読	筆者や父親の思いを捉え、家族や人間関係について自分の考えを持っている	内容や表現の仕方について感想を交流する。 (例：登場人物になりきって文章を書き、交流する。)	読 (1)エ	○					○	
	練習 推敲して適切な文章に直す	書いた文章を読み返し、言葉の使い方や表記に誤りがない文章にする。	1	書	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にしている。		書 (1)エ			○				
	気持ちを込めて書こう 手紙を書く	伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるよう表現や構成を工夫して手紙を書く。	4	書	手紙の基本的な形式を理解し、推敲して相手や目的に応じて手紙を書いている。		書 (1)ウ				○		○	
10	モアイは語るー地球の未来	構成や展開の工夫や筆者のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。	5	読	筆者の論の展開をふまえ、説得力のある文章について、根拠を挙げて自分の考えを深めている。	序論・本論・結論の文章構成で、環境問題について文章を書く。	読 (1)エ	○					○	
	言葉2 敬語	敬語の働きについて理解する。	1	言	敬語の働きについて理解している。	ロールプレイングなどで、実演する。	伝国 (1)イ (ア)	○					○	
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	同訓異字・同音異義語などの意味・用法の違いについて理解する。	1	言	文脈や言葉の意味に注意して、同じ訓の漢字や同音異義語の使い分けができています。		伝国 (1)イ (イ)	○					○	
	季節のしおり 秋													
	音読を楽しもう 平家物語	冒頭部を音読し、言葉の響きを楽しむ。	1	言	歴史的仮名遣いやリズムなど作品の特徴を捉えて朗読している。	冒頭部を朗読する	伝国 (1)ア (ア)						○	
	扇の的ー「平家物語」から	古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 登場人物の心情を想像しながら読み、描かれたものの見方や考え方について自分の考えを持つ。	3	言 読	朗読を通して作品独特の言葉の調子やリズムに慣れ、作品の良さを見つけている。 登場人物の言動から心情を考え、そこに表れた価値観などに対して、自分なりの考えを持ち、意見を述べている。	リズムを生かして音読・朗読する	伝国(1) ア (ア)(イ) 読(1) イ・エ	○					○	
	仁和寺にある法師ー「徒然草」から	古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 登場人物に対する作者の考えを述べた部分から、ものの見方や考え方について自分の考えを持つ。	3	言 読	朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品の良さを見つけている。 登場人物の行動を通して述べられた作者の考えについて自分の考えを持ち、述べている。		伝国(1) ア (ア) (イ) 読(1) イ・エ			○				○
	人物の特徴を捉えて論じよう	古典の登場人物の人物像について、伝えたい事柄を明確にし、文章の構成を工夫して書く。	1	書	選んだ登場人物の特徴がわかる言動を具体的に挙げて、文章構成を工夫して自分の考えを書いている。	法師の行動に対する意見を述べる文章を書く。	書 (1)イ						○	
漢詩の風景	漢詩特有の言葉づかいや調子を生かして読み味わう。 漢詩に詠われている情景を想像し、昔の人の心情に触れる。	3	言 読	朗読を通して作品独特の調子やリズムに慣れ、作品の良さを見つけている。 それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情を、表現に基づいて想像し、まとめている。		伝国 (1) (イ) 読 (1)ウ			ア	○			○	

